



2013年度第3回運営委員会報告

ボストン日本語学校運営委員長 藤尾 彰

本年度第3回目の運営委員会を12月12日(木)19時よりアーリントン事務所でいたしましたので、その概要を報告いたします。

● 学校から

a. 校長から

- 11月11日、12日に、第32回補習校派遣教員研究協議会がボストンにて開催された。
 - 永住する子どもたちを区別しないような方向での補習校のありかたを打診した。
- 教職員の異動報告
- 「園児・児童・生徒サーベイ」の呼び名を「調査票」と変更する。

b. 教頭から

- 次年度予定表
 - 大運動会を今年度より一週間早め、予備日がSATと重ならないようにする。
 - 今年度同様授業日数を39回+午後授業分1回=40回
- 生徒会組織図の名称を変更:「生徒会タレントショー実行委員会」、「生徒会文化祭実行委員会」とし、PTA組織との区別をわかりやすくする。
- 新高校カリキュラム
 - 来年度より実施
 - 数学を取り扱わないことについて問い合わせがあったが、説明会での話を踏まえて学校の考えを伝えた。また、もともと入試のための数学ではないことと、個人的に質問等を受けることはできることも伝えた。

c. 事務長から

- 授業料の返金
 - 規程の期限内に退学届が出された場合には返金をする場合もある。
- 3学期ファンドレイジング
 - Tシャツ、バッグ、フォルダ
 - 申込書配布は1月18日、申し込み受付締め切りは2月1日
 - 各種事務部研修を実施
 - 1月11日10時15分から10時50分に幼稚部抽選会・説明会を実施する。安全委員会とPTAからも説明を行う。

● 人事委員会

a. 教職員人事の報告

b. 教員募集

- 学校ホームページを見て、保護者でない良い人材からの問い合わせが来始めた。ホームページのもっと目立つところに教員募集を掲載するとさらに効果的かと思う。また、JLSボストンニュースレターにも募集記事を掲載する。

- 財務委員会
 - a. 2013年1月から10月までの会計報告
 - b. 11月、12月の支出を考えると、今年度はほぼ予算通りとなる見込み。
 - c. 今後3年ごとに約10ドルの授業料引き上げが必要になるかもしれない。事務所家賃が3年据え置きで、その後毎年2.5%値上げとなる。
 - d. 次年度教員給与については、学級編成会議の結果を受けて検討する。
- 安全委員会
 - a. 医療緊急時対応に対する保護者からの署名が毎年必要である。
 - 同意、署名が必要な書類を統合する。
 - 更新のタイミングは新入学・進級の他の書類と同様に毎年4月に行う。
 - b. 「ヘルスレコード」の名称を「健康調査票」に変更。
- 法務委員会
 - a. 平成26年度学校要覧の改訂
 - 作成計画の通り進める
 - 次年度版では大きな改訂はない予定
- 領事館
 - a. 補習授業校派遣教員研究協議会
 - すばらしい補習授業校派遣教員研究協議会であった。中川校長先生と河合教頭先生の御努力に敬意を表したい。なお、同協議会では武藤総領事が記念講演を行った。
 - 外務省としての個別面談で、ある補習校から直面している課題が出された。
 - 日本語継承クラスは永住者対象のクラスであると判断され、学校全体として政府補助金が減額となった。
 - 在ボストン日本国総領事館では、今後何らかの援助への考えがあるのかを外務本省に打診した。

